

福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）からのお知らせ

震災から11年が経過しましたが、相双地域の営農再開は道半ばであります。官民合同チームでは、これからも農業者様の声を伺い、農業者様に寄り添って、営農再開の拡大に向けた様々なご支援を続けてまいります。（支援内容は裏面をご覧ください）
営農再開され、相双地域で頑張られている農業者様や地域の問題を紹介いたします。

【浪江町での取組】

リース事業で導入した農業機械を活用して営農再開しました！

酒田ファーム様は、復興組合での打合せや保全管理作業を行う中、地域の復興に繋がるよう奮起され、新たな生産組合を立ち上げ、農地を集積するとともに、県のリース事業を活用して新たに農業機械を導入し営農再開されました。

西台生産組合様は、小麦・水稻二毛作やスマート農業の導入に着目され、ドローンを活用した農薬散布等の効率的な営農に向けて取り組まれています。相双機構では、地域の皆様の生産組合の設立やリース事業を活用した新たな農業機械の導入をお手伝いさせていただきました。この秋には黄金色の稲穂の景色とともに、美味しいお米が収穫できるよう、栽培管理に取り組まれています！



【酒田ファーム様】

導入した田植機で初移植



【西台生産組合様】

ドローンの操作訓練

【大熊町での取組】

大熊町でアスパラガス栽培による営農再開が取り組まれています！

震災前から農業を営み、大熊町でいち早く帰還され営農を再開された長谷川信一様は、昨年アスパラガス栽培を始められ、日々意欲的に営農に取り組まれています。

この度、農水産物を扱われる「海幸」様の御協力をいただき、このアスパラガスの「Jヴィレッジ」様への出荷が実現しました。

また、神戸にある飲食店の「すし山崎」様から「大熊町を応援したい」との思いをいただき、出荷に繋がりました。皆様から、新鮮なアスパラガスに高評価をいただき、継続的な取引に繋がっています。長谷川様からも「新鮮で美味しい野菜を皆様に食べていただければ嬉しい」とお喜びの声をいただきました。

相双機構では、これらの販路拡大のお手伝いをさせていただきました。



栽培する長谷川様
とアスパラガス

【富岡町での取組】

県内菓子店とコラボしたパッションフルーツのスイーツフェアが開催されています！

富岡町で建設業などを営まれる(株)サン・クリーン代表の高橋雅裕様は、富岡町の復興に貢献したいとの思いから、東北では珍しいパッションフルーツの栽培を令和2年から始め、今年はハウス6棟で約4tの収穫を見込んでいます。富岡町の特産品として、また、パッションフルーツのおいしさをもっと広く知って欲しいとの思いから、県内の菓子店3社とコラボしてオリジナルスイーツを商品化し、8/5～9/5の期間限定で、“常磐富岡パッションスイーツフェア”を開催しています。商品は上記菓子店3社※の他、8/1にオープンした、常磐富岡IC近くのサン・クリーン直営店「富憩荘（とけいそう）」でも購入できます。皆様、この機会に是非、パッションフルーツを使ったスイーツを楽しんではいかがでしょうか。相双機構では、高橋様の販路拡大のお手伝いをさせていただきました。 ※ 商品・販売店の詳細は、右QRコードよりHPをご覧ください。



パッションフルーツを
栽培する高橋様



福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）とは？

被災された事業者を個別訪問し、相談型のご支援を行うため創設された組織です。国、福島県、福島相双復興推進機構の三者で福島相双復興官民合同チームを構成しています。

そのうち、**営農再開グループ**では、東北農政局、福島県、福島相双復興推進機構の三者による農業者の個別訪問を実施しています。

個別訪問：営農再開グループ員が農業者様に個別訪問し、営農再開に向けての課題や農地利用予定等について、お話を伺います。

対象市町村：田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、葛尾村、双葉町、浪江町、飯館村

対象となる方：震災時に上記市町村で農業を行われていた方
今後上記市町村で新たに農業を行う方



お伺いした内容をふまえて、ご要望に応じた支援を無料で行います



農産物販売の悩みに対応します！

「生産拡大したいが販売先がない」「震災後下落した価格を回復させたい」
このようなお悩みには、専門家を派遣して販路開拓のご支援をします。



農業技術の悩みに対応します！

「作物がうまく栽培できない」
「どの作物を栽培すべきかわからない」
このようなお悩みには、普及指導員などによる技術的なご支援をします。

制度活用時の悩みに対応します！

「補助金の申請方法がわからない」
「農業法人設立の進め方がわからない」
このようなお悩みには、訪問員がアドバイスを行います。

その他の取組

地域・集落での営農再開に向けた取組の支援

今後の担い手不足に対応するため、地域の中核として営農を続ける農業者の方への農地集積が円滑に行われるよう、市町村やJAと連携して農地のマッチングなどの支援活動を実施しています。

畜産の再開に取り組む事業者のネットワーク構築

震災によって失われた畜産事業者のネットワークや耕畜連携を復活するため、相双機構が各種企画（セミナーや先進地見学会、現地検討会等）を実施しています。

農地利用の意向確認

所有している農地の今後の利用意向についてもお聞きしています。農地貸出希望の方につきましては、今後市町村や担い手の方と連携し、貸出についてサポートさせていただきます。

福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）

ご相談受付ダイヤル：024-502-1117
（受付時間9:00～17:00 土日祝日、年末年始を除く）

Webサイト <http://www.fsrt.jp>



営農再開グループの
ページはこちら→



< 公式SNSページはこちら >

